

令和4年度事業報告

(自令和4年4月1日、至令和5年3月31日)

認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

1 事業の成果

自立援助ホーム「星の家」は、令和4年度から女子ホームとして新たなスタートを切った。年度当初、前年度から継続入居者は5名、新規入居者は1名だった。年度を通しての平均入居者数は月当たり4.8人であった。年度内の新たな入居者は2名であり、実質8名に対して必要な支援を行った。そのうち4名が家庭に戻ったり、就職やアパートを借りて自立していった。昨年度に続き新型コロナウイルスの影響を受けた1年であり、入居者3名が時期をずらして感染した。

近年、社会的養護の経験がないまま、また就労経験を経ずに入居に至る者が大半を占めるようになってきている。昨年度、高校在籍者は4名のうち2名が退学したが、1名は無事卒業した。中学時代から休みがちだった子どもが学業と仕事を両立かつ継続していくことの難しさを感じた。いずれにしても目的意識のないまま入居してくる子どもが増えており、彼らの自立までの道のりの困難さを改めて感じた。

一方で150名に達する退所者へ相談対応であるが、47名のOB・OGと延べ1316回のやりとり（来所対応165回、訪問支援86回、電話相談267回、メール（LINE含む）相談718回、手紙11回、関係機関とのやりとり69回）があった。とちぎユースアフターケア事業協同組合が1年間に受ける相談件数が約500件であることを考えると膨大な数であり、アフターケアに多大なエネルギーを費やされていることが窺える。

「ママと赤ちゃん家」では、2つの家庭に対して45回の預かり支援を行い、延べ70人の乳幼児を預かったほか、乳児院や市役所、児童相談所への動向支援などを行った。

ファミリーホーム「はなの家」は、令和4年度は6名でスタートし、年度内に措置を延長して障害福祉サービスへの移行を進めていた男児が退所し、女兒1名が入所した。年度を通しての平均入居者数は月当たり6人であった。児相の一時委託保護では、これまでショートステイ等で継続してかかわっていた児童を半年にわたって預かった。結果的に入居者7名になった期間が生じてしまった。年度末での退所者はなく、令和5年度は6名でスタートした。

宇都宮市からの委託事業（要支援児童健全育成事業）の「月の家」では、利用者の実数は19名で、一人当たり週2回の利用とし1回当たり約6名の利用があった。中学3年生の4名のうち2名については保護者と一緒に高校の説明会や三者懇談にも同席した。新規利用の小学生2名については登校支援も行った。月の家のボランティア団体「ノリノリの会」企画の運動会は、コロナ禍で中止となった。子ども達は、障害や被虐待、不登校と様々な問題を抱えており、この事業があつて何とか生活が維持できている状態である

栃木県より平成29年度から受託している「子どもの居場所担い手育成事業」であるが、令和4年度からは、NPO法人「子どもの育ちを支える会さくらネット小山」に引き継がれた。

収益事業としてチャリティーコンサートと星の家まつりを3年ぶりに実施した。それぞれ100万円を超える収益を上げることができた。

子ども虐待防止ネットワークとちぎが主催する「第13回子どもの虐待をなくそう県民のつどい」をとちぎ青少年センターにて開催した。「虐待死をなくすために私たちにできること」をテーマに大竹智（立正大学教授）先生の講演、虐待対応の最前線で活動している児童相談所や市役所等の関係機関の方が登壇してパネルディスカッションを行った。約100名の参加者があった。

広報活動として会員向けに会報を2回発行した。

2 事業に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の金 額 (千円)
1. 青少年の自立 に関する相談 ・援助事業	とちぎユースアフ ターケア事業協同 組合と連携しなが ら活動	通年	とちぎユースアフター ケア事業協 同組合 星の家	職員4名 非常勤1名	社会的養護 の対象者	0
2. 自立援助 ホームの運営	自立援助ホーム 「星の家」の運営 (児童自立生活援助事業)	通年	星の家	職員4名 非常勤1名	社会的養護 の対象者	30,981
3. ファミリー ホームの運営	ファミリーホーム 「はなの家」の運営 (小規模居住型 児童養育事業)	通年	はなの家	職員1名 非常勤3名	社会的養護 の対象者	29,585
4. 居場所作り 事業	要支援児童健全育 成事業「月の家」の 運営	通年～	月の家	職員2名 非常勤2名 アルバイト10名 ボランティア10名	社会的養護 の対象者	19,083
5. 機関誌・会報 の発行	会報の発行	年2回 (8月・1月)	支える会	職員4名	会員及び 支援者 1100名	337
6. 会員拡大の ための事業	中央地区研修会	中止				0
	②「子ども虐待をなく そう県民の集い」	11月26日	とちぎ青少 年センター	職員4名 ボランティア 数十名	県民参加者 100名	0

(2) その他の事業 (収益事業)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	事業費の 金額 (千円)
① -1 バザー	第23回星の家まつり	10月30日	道の駅 うつのみや ろまんちっく 村	職員7名 ボランティア140名	362
① -2 チャリティー コンサート	第22回青少年の自立を 支える会コンサート	2月26日	宇都宮市文化 会館大ホール	職員6名 ボランティア40名	982
② その他事業 を行う為の 必要な資金 を得る事業	実施なし				0